

シルバー

エコ



第268号 平成26年3月10日  
公益社団法人 三田市シルバー人材センター  
〒669-1323  
三田市あかしあ台5-32-2  
電話 564-7501  
FAX 553-1300  
Eメール [sandasilver631015@sandasc.org](mailto:sandasilver631015@sandasc.org)  
ホームページ <http://www.sandasc.org/>

Eメールとホームページのアドレスが変わりました。旧アドレスは、今年の3月まで使えますが、ぜひ登録の変更をお願いいたします。

## 2月25日地域班連絡会議開催

先般、理事会にて承認された「地域班組織設置運営要綱」に関する説明を行うとともに、現在の地域班の運営について、各地域班長、役員、事務局で活発な意見交換が行われました。

取り上げられた主な問題点は、下記のとおりです。

- 役員の後任を見つけにくい
- 会員相互の連帯意識や親睦についての意識が希薄
- 地域班で企画した行事等への参加者が少ない
- 事務局体制による問題点

本来は、居住する地域において会員相互の連携や親睦を図り、シルバー事業への協力や、地域社会への貢献などを行うこととしていましたが、会員の地域班に対する意識にも変化が見られ、いずれの地域班も従来の様な運営が困難になってきました。

今後は、総務財政部会が中心になり、現状を踏まえた運営の方向性を検討していく事となりました。

その他、次年度予算及び事業計画に関する協議も行われました。

## 平成25年度2月現在の事故発生状況

2月末現在で事故は右表の通り27件発生し前年同月比で11件も増加しています。

屋外作業の繁忙期である5月～7月の3カ月で14件の事故が発生しました。

9月には集草作業中、トラックの荷台に上がり草を踏み固めていたところ、急発進した為、荷台から転落し重傷を負い、現在も入院しています。重篤な事故はこの1件ですが、軽微な事故は増加傾向にあります。

傷害事故	12
賠償事故	14
交通事故	1
合計	27件

- 刈払機で除草作業中に石を飛散させて窓ガラスの破損や散水栓の切断
- バリカーが上がっていることに気付かず車に衝突
- 商品が掛かっているハンガーラックの搬出作業中、操作ミスで発注者の所有物に衝突

重篤な人身事故も荷台の確認や声掛けをしていれば、防げたと思います。安全就業を最優先で、作業周辺の安全確認と仲間同士の声掛けで事故防止に努めましょう。

## 当センターの歴史（第3章 平成11年～平成15年）

平成11年（1999年）

11月25日にあかしあ台に新事務所竣工。岡田市長（当時）の出席を頂きテープカット。  
互助会のサークル（カラオケ、園芸、囲碁将棋、書道、カメラ、ハイキング）開設  
シルバー障害保険が改定（僅かに給付金UP）  
全国シルバー人材の普及啓発強化月間のポスターデザイン、当センター会員の作品が採用。  
長期就業対策委員会設置  
エコーが100号を記録

平成12年（2000年）

4月福島作業所竣工  
配食サービス開始（～平成19年） 常務理事を初めて設置  
会員証（写真入り）が改められる



平成13年（2001年）

安全パトロール実施  
巨大クワガタ（有馬富士公園開園記念として）の花自動車を三田まつりで走らせる。  
キッピーモールが出来る。三田駅前立体駐車場に就業。  
ユーロ圏（12ヶ国）で単一通貨「ユーロ」が流通

## 高平班と小野班合同で救命講習会を開催

高平地域班班長 大東 孝史

1月29日、三田市消防署にて高平、小野地域班合同で救急救命講習会を開催しました。参加者17名は講師の署員からテキスト「救命処置」の流れに沿って講義と実地指導を受け、参加者全員が貴重な体験をしながら、途中質疑応答も交え、知識の習得に努めました。

今回は「心肺蘇生法（胸骨圧迫）」と「AED（自動体外除細動器）の使い方」を重点的に学び、救急隊に引き継ぐまでの救命処置を続ける大切さを指導いただきました。尊い命を救うためにはできるだけ講習会の回数を重ね、一人でも多くの方が受講することが、実践に反映するのではないかと、分かりやすい説明と実習を通じて痛感いたしました。



## ウッディA・B班合同で市政出前講座受講

2月21日ウッディ市民センターにて市政出前講座を合同で受講しました。38名の会員の出席を頂き、和やかな雰囲気の中、講座がはじまりました。

講座メニューは、後期高齢者医療制度の概要と、ふるさと三田の歴史と文化財についてです。特に医療保険制度の負担特例措置の見直し（70～74歳）が今年4月より変わるようで、皆さん熱心に受講していました。三田の歴史は今NHKで放映中の黒田官兵衛と、三田の有馬の殿様「九鬼家」との関係など楽しく、お話を伺いました。次回も又、みんなが興味ある講座を受講できればとおもいました。



## <こんな仕事あります>

- (担当小川)  
納豆製造補助 (2人/男性) 70歳迄  
8:30~18:15 8.75H (3勤2休)  
月 15日 (交代制有)
- (担当小川)  
清掃作業 (クラブ内・浴室等) 女性1~2名  
9:00~12:00 8:00~17:00 8H  
週1~4日 交代制有
- (担当小川)  
調理補助 (パック詰め・品出し) 不問2人 (交代制有)  
7:00~11:00 8:00~12:00  
週4~5日

## 「伸びゆく三田」配布員募集

下記の地域で配布員を募集しますので、至急事務局まで連絡下さい。(担当 職員上田)

三田町	約 350部配布
すずかけ台3丁目	約1000部配布
武庫が丘6丁目	約180部配布
香下・成谷	約100部配布
上内神・馬渡	約100部配布
布木・田中・酒井	約110部配布
福島・西野上・東野上	約300部配布

## 住所変更は速やかに連絡下さい

エコー配達の会員さんが困っています。住所変更する場合は出来るだけ早く事務局まで連絡下さい

## 入会説明会のご案内

お知り合い、ご近所の方をお誘い下さい。

3月27日(木) 13:30~

4月11日(金) 13:30~

(4月から第2金曜日に変更します)

## 笑顔研究所

あなたが笑顔になる時は...

よしかたやすかず

吉形安一 さん

まえだやすかず

前田保和 さん

吉形さんは、コーラスとスキー同好会に所属しておられ、



若い時から自然が大好きで、特に雪景色が好きで、気のあった仲間とゲレンデを滑り降りると自然に笑顔が溢れます。今年は同好会の6人で岩手県の安比高原に出かけて思い切り楽しんでこられたようです。

前田さんは植木剪定の業務を7~8年しておられ依頼された庭を剪定し、家の方が喜ばれたとき、無類の喜びを感じ自然に笑顔があふれます。

趣味として暇な折に自然農法 {不耕起 (耕さない) 不除草 (除草しない) 不施肥 (肥料をあたえない) 無農薬



(農薬を使用しない) の農業} を実践しているそうです。お二人とも優しい笑顔の素敵なかたでした。(O記)



## 1. ティーフレイク

### イカナゴのくぎ煮



春を告げるイカナゴ漁が2月

末、解禁になりましたが皆様は、イカナゴのくぎ煮を作られますか? 「くぎ煮」という名前は、稚魚をしょうゆや砂糖で煮ると、錆びて曲がった釘に似ているところから付いたようです。また「くぎ煮」は神戸市長田区の珍味メーカー(株)伍魚福(ごぎょふく)の登録商標だそうです。意外ですが、関西でも阪神地区、播磨地区、淡路地区以外で、いかなごの「くぎ煮」はあまり食されないようです。

各地に発送するサービスとして

《郵便局》EXPACK500の「いかなごパック」

ゆうパックの「いかなごゆうパック」

《クロネコヤマト》「いかなご宅急便」

《日本通運》「いかなごくぎ煮ペリカン便」等

があります。色々な炊き方があると思いますが、我が家の炊き方をご紹介します。 (A・O記)

### イカナゴのくぎ煮

#### 材料

イカナゴ 1Kg 濃口しょうゆ 200 CC 酒 100 CC  
みりん 100 CC ゼラメ砂糖 230 g 土生姜 50 g

#### 作り方

- ①イカナゴを水で洗い、ざるにあげて水を切る(5分)
- ②土生姜をよく洗い、皮付きのまま千切りにする
- ③すべての調味料と土生姜を鍋に入れ煮立たせる
- ④強火にして、イカナゴを3回ぐらいに分けて入れ、アクを取る
- ⑤アルミホイルで作った落とし布タをし、吹きこぼれない程度の火加減で煮汁が少なくなるまで炊く(絶対かき混ぜない)
- ⑥泡がおさまり小さくなったら、落とし布タを取り中火~弱火で煮汁がさらに少なくなるまで煮詰める
- ⑦煮あがったらザルで煮汁を切り、バットに広げてうちわで冷ます

### 新入会員紹介(順不同・敬称略)

今回は10名の方が会員登録されました。

個人情報保護のためお名前は伏せています。

#### 入会説明会

3月27日 13:30

4月11日 13:30 から事務所で開きます。

入会ご希望の方は事前に事務所までお電話下さい。

### 3月11日からの行事予定

3月19日(水) 仕事の相談日

20日(木) 総務財政部会

26日(水) 理事会

27日(木) 入会説明会

今回の配分金お支払は4月10日(月)です

項目	平成24年度	平成25年度
会員数(人)	1,052	1,092
受注件数(件)	3,044	2,988
契約金額(円)	418,180,444	405,131,893

(平成24年度・26年2月分迄の累計)

### 伝言板

#### 生きる知恵を伝える

冬季オリンピックも終わり、今パラリンピックが開催されていますね。眠気を我慢して徹夜で応援された方もおいででしょう。成果を上げた選手もいますし、実力を発揮できずにくやし涙を流した選手もいることでしょう。でも、困難に直面したときに「勤勉・勇気・思慮・熱心」でその困難に打ち勝つ事が出来ると作家ジュール・ヴェルヌが書物にかいています。

今、生きる知恵(知識ではない)を私達シルバー世代が伝える事を求められているのではないのでしょうか。ガミガミと小言ばかりをいうのではなく人と話す、本を読む、物思いにふける、アナログ的時間と空間がふえれば、想像力、表現力、他人を<sup>おもんばか</sup>慮る力がつく。若者の電子機器依存が問題になっている昨今、立ち上がってみましょう。

(M・Y記)